

たくさん英語に触れて 世界をめぐるう

英語を学んで世界の文化に触れる学習アプリ

続けることで身につく！ モチベーションアップの仕組み

世界旅行をベースとしたゲーミフィケーションとなっており、訪れた国の情報を知ることができるので異文化学習にもつながります。また、トレーニングでためた仮想通貨(ページ)で訪れた国のアイテムを買うことができます。



小学生の英語教育

小学校で教科化、中学では英語の授業

英語が小学校から教科化され、5・6年生では600～700の単語を学習します。さらに、中学では基本的に英語で授業が進められるため、小学生の時にしっかりと英語の基礎を作っておくことが大切です。

小中で学ぶ単語数

4技能に加えて
英語での発表も！

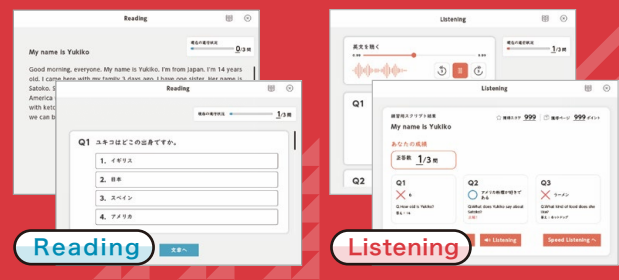


小学校の授業時間

学年	時間	内容
3	35	外国語活動
4	35	聞く・話す・発表
5	70	外国語
6	70	読む・書く

自分のペースで読む・聴くトレーニング

自分のレベルに合わせてスタートできるので、授業進度や学年に関係なく、いつでもトレーニングを進めることができます。



英語に慣れ、得意につなげる！

読む&聴く 英語学習

小学校で
学ぶ単語を網羅

英文を
読む・聴く力UP

世界の文化に
触れ学ぶ

英検®対策
4級～準1級搭載

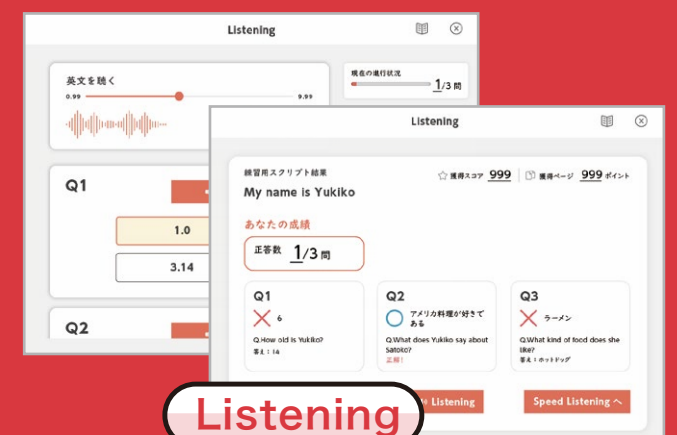
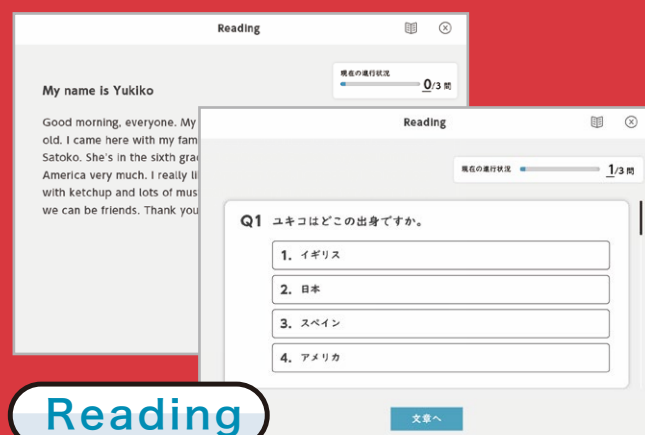


自分のレベルにあわせてはじめよう！



コース	英検®目安	内容
Course I	5～4級	英語初心者向けの短く易しい文章を豊富に搭載 小学校5・6年生で学習する英単語を網羅！ 東大や難関大へ多くの生徒を輩出した英語指導のプロが 監修した英単語帳を搭載
Course II	3級	説明文、エッセイ、手紙文など高校入試で出題される形式
Course III	準2～2級	論文、会話文、WEB文章などの長文問題
Course IV	2～準1級	現代技術や社会問題など、大学入試に出やすいトピック

読む・聴く力を鍛えるトレーニング



もっともっと続けたいくなる秘訣 /

世界旅行をベースとした異文化学習にもつながるゲーミフィケーションを搭載。学びながら、楽しくトレーニングを進められます。



※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

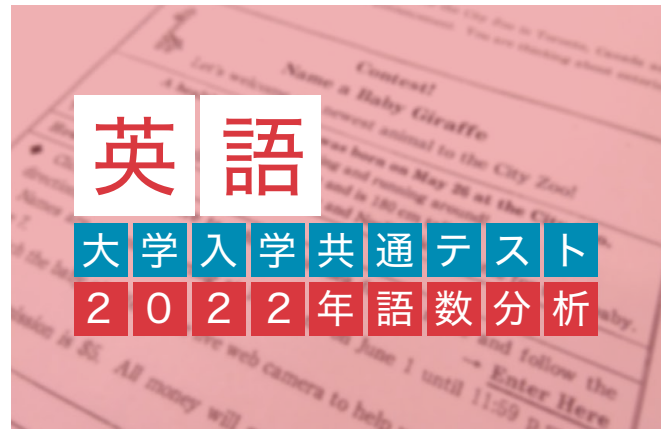
2022年度実施 大学入学共通テスト 英語 語数を分析

2022.01.21

2022年1月15日、2022年度(令和4年度)大学入学共通テスト1日目が行われました。

リーディングでは身近な話題を扱ったテーマから、説明的文章まで多様な題材が出題されました。リスニングでもイラストやグラフ、表が使用されており、読解力や情報処理力が問われました。

ここでは、大学入学共通テスト英語 リーディング、リスニングの語数カウント結果と、分析を掲載します。



英語:リーディング 分析

単語の難易度は高くないものの、語数が昨年より約500語増加

全体の語数は**6,066語**で、昨年度と比較すると**500語以上増加**しました。

特に大問5以降の選択肢の英文を含めると各問1000語に達するなど、速く正確に読む力が必要となりました。

出題形式は昨年と変わらず、配点に変化はありませんでしたが、設問が1問減少し、マーク数が1つ増加しました。

多くの大問で図表やグラフが使用されており、**短時間で多くの情報を処理する速読解力が求められました。**

2022年実施 大学入学共通テスト(英語:リーディング)【問題構成】 (100点満点 80分)

大問	小問	内容	マーク数	配点	語数	75wpmで読んだ場合	150wpmで読んだ場合
1	A	書籍情報の読み取り	2	4	177	2分22秒	1分11秒
	B	ウェブサイトの読み取り	3	6	366	4分53秒	2分26秒
2	A	施設案内文の読み取り	5	10	524	6分59秒	3分29秒
	B	記事の読み取り	5	10	456	6分05秒	3分02秒
3	A	ブログ記事の読み取り	2	6	347	4分38秒	2分19秒
	B	雑誌記事の読み取り	6	9	535	7分08秒	3分34秒
4		複数のブログ記事の読み取り	6	16	721	9分37秒	4分48秒
5		伝記文の読み取り	9	15	959	12分47秒	6分23秒
6	A	論理的な文章の読み取り	5	12	944	12分35秒	6分17秒
	B	論理的な文章の読み取り	5	12	1037	13分49秒	6分55秒
			48	100	6,066	80分53秒	40分26秒

※SRJ調べ ※合計は、端数調整しています

時間内に読解するためには150wpmが必要

高校生の平均読書速度75wpmで読んでいては、読むだけで時間が足りなくなってしまう。そのため、受験には約2倍の**150wpmの英語を読むスピード**が必要となります。

英文の内容や図表から情報を整理して並び替えたり、理論展開を考え、問われている内容を判断するなど、英文理解はもとより英文を理解したうえでの思考力・判断力が問われる、新傾向の問題が多く出題されました。

※wpmとはwords per minuteの略で、1分間に読めるワード(単語)数のことです。

大学入学共通テスト(2022年) **6,066語** (リーディング)

読書速度	試験時間	80分
平均速度 75wpm で 読んだ場合	読む 81分	読むだけで 時間オーバー
受験に必要 150wpm で 読んだ場合	読む 40分	解く <40分

読む時間を短縮

英語:リスニング 分析

再生1回の配点は約6割

出題形式は昨年と同じ大問6題からなる構成で、配点にも変化はありませんでした。
リスニングでもイラストや図表が多数使用され、それらの資料を読み込んだ上で、放送される内容から素早く正答を導き出す必要があり、**読解力や情報処理力が求められました。**

2022年実施 大学入学共通テスト(英語:リスニング)【問題構成】						(100点満点 30分)	
大問	小問	内 容	マーク 数	配点	放送語数	放送 回数	
1	A	短い発話の内容に合う英文を選ぶ	4	16	52	2	
	B	短い発話の内容に合う絵などを選ぶ	3	9	33	2	
2		短い対話の内容に合う絵などを選ぶ	4	16	143	2	
3		短い対話の内容について、質問に対する答えを選ぶ	6	18	291	1	
4	A	やや長めの発話の内容に沿って、情報を整理する	8	8	171	1	
	B	複数の発話を比較して、条件に最もふさわしい発話を選ぶ	1	4	161	1	
5		社会的話題に関する講義を聞き、質問に対する答えを選ぶ	7	15	325	1	
6	A	2人の会話を聞いて、質問に対する答えを選ぶ	2	6	158	1	
	B	長めの会話・議論(4人)を聞いて、質問に対する答えを選ぶ	2	8	229	1	
			37	100	1563		

※SRJ調べ

場面に応じた聴き取りを要する、実践的な英語力が問われた

特に後半では専門的な内容や、複数人の発言内容の整理が必要な問題など、1回で聴き取って解答するにはやや難しい問題も含まれました。
前回同様、**読み上げスピードも140wpm(ネイティブの通常会話スピード)**が基本となっており、またアメリカ人話者だけでなくイギリス人話者や日本人と思われる非ネイティブ話者が含まれる等、リスニング力が試されました。

高1、高2生は今から長文読解・リスニング演習を始めよう

長文読解では動物園のウェブサイト、ポスター、ブログ記事など身近な題材を扱った英文から、発明家の伝記文、リサイクルの説明文章など、多岐に渡るジャンルで出題されました。
リスニングでは、大問3問から再生が1回になります。複数人の会話を聴き取る問題や、情報整理はもちろん、冒頭から重要な情報を聞き逃すと解答が難しくなるため**集中力も必要**です。
長文読解やリスニングの聴き取りは、日々の積み重ねが大切です。単語や文法の暗記と同時並行して、**長文読解やリスニングの演習を取り入れましょう。**

☑まとめ

語数は昨年から500語増加、再生1回問題の配点が約6割

- ★総語数は昨年より500語増加して、80分の試験で6,066語
- ★リスニングは大問3から再生回数1回
- ★リスニングでもイラストや図表の読み取りがあり、情報整理力が必要

共通テストの特徴である読解力や思考力を問うため、会話文や図表の読解などが多数出題されています。
日頃から英語のニュースを読む・聴くなど、多くの英文に触れましょう。